



当たり前グランプリ 2021 コロナ禍の結果発表会

2010年、上甲晃先生による「本当に大切なことは平凡の中にあり、当たり前のことをしっかり励むことです。特別なことばかり追い求めるのではなく、当たり前のことを、どこよりも徹底してやるのが大事。それが企業としての底力を養うことになるのです。そして、十年間継続しないと本物にはなれない！」とのご講話をヒントに、始めた**当たり前グランプリ**も、参加された会社の方々は、切磋琢磨により一昨年富士山の頂上(10合目=10年目)まで到達することができたのでした。私共の事務所がお世話して始めたこの活動も、一般社団法人化され、新たな「当たり前グランプリ」は理事会や運営委員会の運営の下に出発しようとした矢先、新型コロナ禍により計画通りにはいかずに、変則・苦勞多しの活動が続いているのが実情です。

これまでの10年間は、中間発表会を各年2回の参加企業を訪問、交流の中で切磋琢磨の機会を作っていました。昨年からはすべてリモート開催となり、正直上手く目的を達成できたとは言い難いところです。

それでも、毎週2回のメルマガ配信は148回に及び、和田座長さんの常に厳しいご指導もあり、各社はコロナ禍の中での奮闘ぶりを配信してくれましたし、リモートであるものの月1回の定例会を開催することで、切磋琢磨する機会を増やした活動をいたしました。

また、12年も継続して参りますと、参加各社ともその後に入社した社員さんは「**そもそも当たり前グランプリとは何なのか?**」という懐疑的な声も一部であるということから、和田座長さんからは、「生い立ち」をお話しいただいたりもいたしました。

当初、今年の結果発表会は2月5日(土)と決まり、上甲ご夫妻、上甲先生がお誘いされた八戸中央青果株式会社(青森県)、大地みらい信用金庫(根室市)のゲストをお迎えし、開催する運びとなっておりましたが、1月に入り山形県にも「まん延防止等重点措置」が発表され、急遽、会場の「三密」を避けて発表者・役員のみ集合、参加企業の皆さんには**YouTube配信での結果発表会**となってしまいました。

ベテランや新顔の発表された皆さんの緊張ぶりが漂っていましたが、この厳しい状況の中でも、コロナのせいにする企業は一社もなく、12年間続けてきた自信で裏付けられる底力を、しっかりと確認させていただきました。自社と他社の発表を聞いていた参加企業の経営者の皆さんも、「良かった！良かった！」と満面の笑みで一人一人に大きな拍手を送っておられました。

今年の皆が選ぶグランプリはハイテックシステムさんの「**継続すること**」となりました。



決められたことを継続して底力をつける→お客様の感動を得るために心を養う5つの基本として、「挨拶、掃除、朝礼、感謝、素直」の徹底！を発表されました。

コロナ禍という非常時であっても「強い底力」を感じる嬉しい発表会でした。

黒沼 範子 